

# 1. 評価結果概要表

作成日 平成20年11月10日

【評価実施概要】

事業所番号	3870103698		
法人名	有限会社 ラッセル社		
事業所名	グループホームみなみ		
所在地	松山市津吉町1 1 4 2 - 1 (電話) 089-963-0957		
管理者	上田 育代		
評価機関名	特定非営利活動法人 JMACS		
所在地	松山市千舟町六丁目1 - 3チフネビル501		
訪問調査日	平成20年8月26日	評価確定日	平成20年11月10日

【情報提供票より】 (平成20年8月19日事業所記入)

(1)組織概要			
開設年月日	平成15年11月11日		
ユニット数	1ユニット	利用定員数計	9人
職員数	9人	常勤	4人, 非常勤 5人, 常勤換算 7.00人
(2)利用料金等(介護保険自己負担分を除く)			
家賃(平均月額)	21,000円	その他の経費(月額)	利用状況により異なる
敷金	有(円) (無)		
保証金の有無(入居一時金含む)	有(円) (無)	有りの場合償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり 1,000円		
(3)利用者の概要 (平成20年8月19日現在)			
利用者人数	9名	男性 3名	女性 6名
要介護1	0名	要介護2	2名
要介護3	4名	要介護4	1名
要介護5	2名	要支援2	0名
年齢	平均 82歳	最低 70歳	最高 90歳
(4)他に事業所として指定等を受けている事業及び加算			
指定 (あり)・なし	指定介護予防認知症対応型共同生活介護		
指定 あり・(なし)	指定認知症対応型通所介護		
届出 あり・(なし)	短期利用共同生活介護		
加算 あり・(なし)	医療連携体制加算		

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

ご自分の思いをおっしゃる方には、耳を傾け、意思表示の難しい方は、日々のかかわりから、表情の変化等に気を付けておられる。「普段と違う」という気付きで、骨粗鬆症による骨折が分かったようなこともあった。管理者は、意思表示の難しい利用者には、積極的にかかわるよう職員に話しておられる。  
利用者全員が毎日入浴できるように支援しておられる。入浴を嫌がる利用者の方の介助時、歌を唄ってみると、利用者の方も一緒に歌ってくださり、それ以後、入浴がスムーズとなったというような事例もある。介護度重度の方の支援のため、可動式シャワーチェアへの購入や、浴室と脱衣所との段差の解消に取り組み、浴室の中には電動の昇降機を設置された。

【質向上への取組状況】

前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
・事業所では、この一年間、家庭的な雰囲気作りや利用者との信頼関係作り、特に力を入れて取り組まれた。
今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
・自己評価を項目で分け職員が取り組み、管理者がまとめられた。管理者は、全職員で自己評価に取り組んだことで、日々の介護への意識が高まったと感じておられた。職員は、さらなる自己研鑽の必要性を感じたと話されていた。
運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
・会議では、事業所の活動報告をされている。地域の方から、介護保険制度や災害対策について質問を受けて、管理者が説明された。
家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
・ご家族の訪問はほぼ毎月あり、その都度、近況や健康状態等を報告されている。又、ご家族の事情によって、郵送で報告される場合もある。
日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
・地域の祭りは、利用者、職員ともに参加し、うなぎの掴み取りを地域の方々と一緒に楽しまれた。地域の方の中に少しずつ顔見知りも増え、声をかけていただいたり、野菜をいただくようなお付き合いが始まっている。

# 自己評価及び外部評価結果表

## サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

### .理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

### .安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

### .その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

### .その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

### .サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!  
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!  
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

### 【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。

各自己評価項目について、「取組みの事実」を記入し、取組みたいに を付け、適宜その内容を記入すること。

「取組みの事実」は必ず記入すること。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

### 用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。  
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。  
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名 グループホーム みなみ

(ユニット名) \_\_\_\_\_

記入者(管理者)

氏名

上田 育代

評価完了日

平成 20 年 8 月 4 日

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>.理念に基づく運営</b>					
<b>1.理念と共有</b>					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価)		
			地域とのつながりを大切にしながら、人生の先輩として敬意、尊敬をもち、かつ日々よりよいサービス、個人個人その人らしく生活できる事を念頭におき、理念としている。		
			(外部評価)		
			事業所の理念「ぼけても自分らしく生きられる」に、Relation(地域の皆さまとのつながり) Respect(高齢者を尊敬する) Quality(介護の質)を追加され、より一層、地域に根ざした事業所を目指していこうと考えておられた。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価)		
			地域とのつながりを大切にしながら、人生の先輩として敬意、尊敬をもち、かつ日々よりよいサービス、個人個人その人らしく生活できる事を念頭におき、理念としており、日々意見をかわし、今後に生かすようにしている。		
			(外部評価)		
			理念を具体的に表したことで、職員は日々の実践につなげやすくなったと話されていた。		
3		家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	(自己評価)		
			家族にも出来事を知ってもらったり、今後地域と生きていく為にどうありたいかを試行錯誤しながら理解・協力してもらえるようお話している。		

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>2. 地域との支えあい</b>					
4		隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) 挨拶したり、立ち止まって話をしたり、散歩途中で気分が悪くなれば休ませて下さったり、入居者が一人で出かけてしまうことがあったが、休ませていただき、連絡してくださったり、野菜など届けてくださったりしている。わからないことなど積極的に聞くようにしている。		
5	3	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) 組いりしており、回覧板も回ってきている。地域の掃除などには必ず参加し、泥んこ祭りや運動会、夏祭りなどに参加。秋の地方祭には、みこしをいれ、地区の方や、子供たちとのふれあいも大切にしている。 (外部評価) 地域の祭りは、利用者、職員ともに参加し、うなぎの掴み取りを地域の方々と一緒に楽しまれた。地域の方の中に少しずつ顔見知りも増え、声をかけていただいたり、野菜をいただくようなお付き合いが始まっている。		さらに、地域の方達に事業所のことを知っていただき、又、利用者の生活を広げていけるような取り組みも、すすめていかれてほしい。
6		事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) 具体的に何をすればよいのか模索中であるが、近所によく訪ねてくださる方のお話し相手などはしている。		
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
7	4	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) 評価を受ける事や自己評価により、改めて日ごろのケアの見直し、地域の関わりを模索、話し合いをしている。ミーティングを行ったり、個々と話し合ったり、経営者に相談しながら、改善に取り組んでいる。 (外部評価) 自己評価を項目で分け職員が取り組み、管理者がまとめられた。管理者は、全職員で自己評価に取り組んだことで、日々の介護への意識が高まったと感じておられた。職員は、さらなる自己研鑽の必要性を感じたと話されていた。事業所では、この一年間、家庭的な雰囲気作りや利用者との信頼関係作り、特に力を入れて取り組まれた。		

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの 実際、評価への取り組み状況等について報 告や話し合いを行い、そこでの意見をサー ビス向上に活かしている	(自己評価)		
			ホームでの意見や社会情勢等織り交ぜながら、意見を 交換しながら行っている。またどうあるべきか意見を 求め、理解をしてもらうように努め、反対に意見も参 考にさせていただいている。		
			(外部評価)		
			会議では、事業所の活動報告をされている。地域の方 から、介護保険制度や災害対策について質問を受け て、管理者が説明された。		代表者・管理者は、利用者の生活の拡がりのために も、地域の協力が得られるように働きかけたいと考 えておられる。いろいろな立場の方が集まるこの会議を さらに活かして、貴事業所のさらなるケアの質向上に 向けての具体的な取り組みに、つなげていかれてほし い。
9	6	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議 以外にも行き来する機会をつくり、市町村 とともにサービスの質の向上に取り組んで いる	(自己評価)		
			運営等で疑問点・改善点があれば、相談するようにし ている。		
			(外部評価)		
			市の生活福祉課の担当者の方とも、利用者の生活につ いて相談しながら支援されている。		
10		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業 や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、 個々の必要性を関係者と話し合い、必要な 人にはそれらを活用できるよう支援してい る	(自己評価)		
			現在1名の方が成年後見制度を利用しており、利用に あたっての流れや、後見人の方との関わりも経験して いる。また、他利用者に問題が生じている場合にも相 談に乗ってもらっている。必要である方には情報提供 している。		
11		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法 について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や 事業所内で虐待が見過ごされることがない よう注意を払い、防止に努めている	(自己評価)		
			常に職員の言動・行動、利用者の身体状況、精神状況 を把握しておくようになっている。また、職員が気軽に 悩み等相談できる雰囲気作りに努めている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
12		契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 入居時に重要事項説明書に沿って説明している。家族もわからないことはその都度質問されるため説明・お答えしている。		
13		運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 利用者の不満等あれば、十分に聞き、対応も併せて個人記録に記録している。対応については、職員に対し、日誌及びミーティングにて徹底している。		
14	7	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	(自己評価) 家族来所時に出来事・健康状態をお知らせしている。家族も1ヶ月に1回来られるためそのときに報告している。また必要に応じて連絡行っている。		ホームページを作成したのもっと身近に感じていただけるようにしていきたい。
			(外部評価) ご家族の訪問はほぼ毎月あり、その都度、近況や健康状態等を報告されている。又、ご家族の事情によって、郵送で報告される場合もある。		
15	8	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 責任者を明らかにし、気軽に話しかけて頂く様にしている。またどの職員に言っても連絡できるようにしており、意見・苦情・不満等あれば解決するようにしている。		
			(外部評価) ご家族の来訪時、意見や要望を聞くようにされている。		「お世話になっているのでこれ以上望んでは気の毒」というようなご家族の心情も踏まえ、ご家族から具体的な意見等を引き出せるよう、働きかけの工夫を重ねていかれてほしい。



## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 管理者・ホーム長に気軽に話せるようにしており、ミーティング等でも意見・提案を聞き、一緒に考え、改善できることは改善。出来ないことは最善に出来るようにしている。		
17		柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) 話し合い等行い、努力している。また相談したりして対応している。		
18	9	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) 新しい職員が来た場合利用者さんに不安を持たせないような対応が出来るよう職員全体でフォローしている。		
			(外部評価) 職員の意見や提案が考慮されるような体制となっている。		
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
19	10	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 研修の資料集め等積極的に行い、積極的に職員に勧めている。またそれに応じた調整も柔軟に行っている。		積極的に参加して行って欲しいと思う。
			(外部評価) 内部研修では、消防署の協力を得て、心肺蘇生法の訓練や知識を学ばれたり、身体障害者の方の経験談から、利用者へのかかわりについて配慮すべき点等を学ばれた。		さらに、すべての職員が外部研修等にも積極的に参加し、職員のスキルアップから貴事業所のケアの質向上を、目指していかれてほしい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価)		
			同業者との交流は持っている。行事も知らせていただき積極的に参加もしている。		今後グループホーム同士の交流を深めて協力していけるようなネットワーク作りに参加している。お互い行き来しあえて高めていければよいと思う。
			(外部評価)		
			地域内のデイサービス事業所からイベント時等、声をかけていただき、利用者と職員が参加されている。		地域の事業所が集まって、虐待ネットワークを作る予定となっていた。
21		職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価)		
			職員が管理者・ホーム長に話せる雰囲気づくり、管理者・ホーム長が運営者に話せる雰囲気作りはしている。		
22		向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価)		
			職員が管理者・ホーム長に話せる雰囲気づくり、管理者・ホーム長が運営者に話せる雰囲気作りはしている。不満・悩みがあれば改善するよう努力している。		
<b>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
23		初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価)		
			本人と話す時間を持ち、出来るだけ多くの事を聞き、何が不安で何を必要としているかを理解するようにしている。本人が話したいときに待つではなく、まず耳を傾ける努力を行っている。		



自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
24		初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価)  これまでの家族の苦労話や、サービスに対しての不安や、意見にその都度対応している。実際家族が気軽に話せる関係作りにも努めている。		
25		初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価)  お話を聞いた上で本人や、家族の思い等を確認し、支援の提案をしている。		
26	12	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価)  事前に本人・家族に見学して頂き、相談しながら行っている。また個人個人のペースを大切にし、本人のペースを乱さないようにしている。  (外部評価)  入居後、「帰りたい」と言われる方にも否定せず、「じゃあ一緒に帰ろう」と職員は付き添われている。又、ドライブ等で気晴らしすることもある。		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
27	13	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価)  本人の不安や楽しみ等を知ることにも努め、共に支えあうように努めている。昔より培ってきた生活に対しての知恵など伝授してもらったり、反対に女性なら服選びをしたりなど。  (外部評価)  料理の得意な利用者の方が多く、職員は、料理の作り方や食べ方を教えていただいたり、和菓子の作り方を教わることもある。		

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28		本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 家族の面会の際には、出来事やその時の利用者の様子や現在の身体・精神状況など日ごろの状態を報告し、共に介護について話し合っている。		
29		本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) 両方からの話を聞くことでお互いが必要としていること、していないことを日ごろから考えている。		
30		馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている	(自己評価) 本人が連絡を希望している場合は希望に沿うようにしている。馴染みの場所を思い出せない人も多くなっているのが実情である。		
31		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) 昔遊んだ事や、歌などを話題にしたりすることで全体の会話へとつなげ、お互いに懐かしんだりして交流を持つことが出来るように努めている。		
32		関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) 入院後体調が思わしくなく、退去となった方にも気軽に相談してもらえるような関係作りに努めている。相談には、誠意を持ってお答え対応している。		

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1.一人ひとりの把握</b>					
33	14	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 利用者のペースにあわせ、一人ひとりが自分で決めたり、選んでもらう場面を作っている。選ぶのを待つ等の配慮を行っている。また個人個人の意見も大切にしている。困難な場合もその人に何が必要であるか、検討した上で行うようにしている。		
			(外部評価) ご自分の思いをおっしゃる方には、耳を傾け、意思表示の難しい方は、日々のかかわりから、表情の変化等に気を付けておられる。「普段と違う」という気付きで、骨粗鬆症による骨折が分かったようなこともあった。管理者は、意思表示の難しい利用者には、積極的にかかわるよう職員に話しておられる。		
34		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 馴染みの家具・馴染みのもの等置き、家庭の雰囲気作りに努めている。家族より情報を聞く等している。		
35		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	(自己評価) 毎日バイタルチェック行い、一人ひとりの健康状態を把握し、声かけや、会話、普段の様子を観察することにより、身体・心の状態を知るよう努めている。		
<b>2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
36	15	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	(自己評価) 家族・医療関係者・職員と相談し、意見等も検討し、毎日職員同士で話し合いも行い、利用者が一番良い、一番必要としていることを介護計画として作成している。		
			(外部評価) ご家族から、家ではベッドの生活ではなかったことを聞き、ベッドを退けて、カーベットを敷きマットレスと布団にされた。又、コタツを置く等で精神的に落ち着かれ、自分でトイレにも行けるようになったような事例がある。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
37	16	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価) 三ヶ月毎の介護計画の見直しを行っている。また身体状況に変化が起きたときも介護計画の見直し・変更を行っている。また介護計画変更時には、家族の意見も聞き、介護計画も納得していただき、実行出来ている。		
			(外部評価) 計画は、3か月に一度の見直しを行っている。退院等、状態変化のあるときには、随時見直しを行っておられる。		
38		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価) 一ヶ月毎に介護計画の評価を行っている。経過記録を出来るだけ具体的に個人個人で記入してもらい、一ヶ月の経過記録より評価している。情報の共有、介護計画にも生かしている。		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
39	17	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価) 通院・外出等個人の希望に沿って出来るだけ職員で対応している。家族の希望があれば宿泊も出来る。出来るだけ個別にも対応できるよう努めている。		
			(外部評価) 利用者のご自宅の畑の様子を見に戻られたり、ご自宅の郵便物を取りに同行されることもある。又、行きつけの美容院へ職員が送迎されることもある。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
40		(自己評価) 地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	本人の意向を表現できる方がいない為積極的には、行えていない。		本人の意向・また必要性があれば、積極的に働きかけたい。
41		(自己評価) 他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	近隣のデイセンターでの行事等に積極的に参加させていただいている。以前希望にて在宅マッサージ等受けられていたが、本人・家族が希望された場合、その制限は、なく協力できている。		
42		(自己評価) 地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	地域包括センターとは、推進委員会及び包括支援センター主催の会議等参加させてもらっている。同地区だけでなく、近隣のセンターとも相談等行っている。		
43	18	(自己評価) かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医については、本人・家族の意向を聞き、以前からかかっているところを希望される方に関しては、従来通り同じ所を受診してもらっていたが、現在は、9名中8名は、本人・家族の意向により、かかりつけ医の往診を受けている。また、急変時にも医師に相談できるように連携をとっている。		
44		(自己評価) 認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(外部評価) 往診時に事業所での様子を伝えて、医療機関と連携を図っておられる。		
44		(自己評価) 認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	かかりつけ医が症状によって専門医（心療内科等）と相談の上検討・指示を出していただいている。利用者のことについて異変があった場合相談・対処出来る。		

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
45		看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) 看護職員がおり、病状・対処方法等、みんなが相談できるようにしている。また、往診の医師・提携病院とすぐに連絡が取り合えるようにしている。		
46		早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) 利用者が入院した際は家族との連絡、病院に状態を定期的に聞きに行くなどして退院時期も早期に相談し、対処出来るようにしている。		
47	19	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) 病状悪化や、急変等考えられる方に対しては、医者・家族と相談した上で今後の方針・意向を確認し、職員全体にも伝えている。 (外部評価) 急変や転倒、誤嚥等の危険がある利用者については、その都度ご家族に詳しく説明をしておられる。又、医師がご家族に直接説明して下さることもある。医師と夜間でも連絡が取れるようになっており、昼間は、担当の看護師がいつでも対応してくれるようになっている。		
48		重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) その人に対し、少しでもその人がその人らしく生きていけるように出来ることを行っている。もちろん限界があるので出来ないことは家族に了解を得ている。		
49		住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) 情報は全て伝達し、対応や注意事項等を利用者が混乱しないように最大限の支援を行っている。また行き先の担当者とも連絡したりしている。		



## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
(1) 一人ひとりの尊重					
50	20	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	(自己評価) 人生の先輩として尊敬の心を常に持ち会話・対応等している。自室やカーテン等利用し、プライバシーを保護している。また、言葉にも気を遣い、他人の前で言われて嫌なことは言わず、違うことで誘導し、ケアしたりするようにしている。		
			(外部評価) トイレの入り口にカーテンを取り付け、戸を開けたまま使用される方のために配慮されている。職員は、利用者の近くで、ご本人にわかるように声をかけておられる様子が見えがえた。		
51		利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	(自己評価) 何かするときは必ず説明し、納得していただいている。嫌と言うことには強制しない。強制介入の必要がある場合には、時間をおいて接したり、対応方法を変更したり、柔軟に対応している。		
52	21	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 散歩・ドライブ・日向ぼっこ・自室のはたきかけ・床拭き・料理の下ごしらえ・食器拭き・洗濯物干し・たたみ・テレビ・音楽・ゲーム等一人ひとりに合った余暇時間を過ごし、みんなが同じ時間で動くのではなく、一人ひとりのペースに合わせた支援を行っている。		
			(外部評価) 居間でテレビを見る方、おしゃべりを楽しむ方等、職員は、利用者をせかすことなく、ゆっくり対応されていた。		

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) 現在美容院を希望される方はいないが、職員が声をかけ、カットしたり、整髪したりしている。希望すれば近所の美容院の方が送迎等込みでカット等していただける。		
54	22	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) スーパーの広告や、料理の雑誌を見て献立を話してみたり、食材をみて何にするか、一緒に話しながらしたり、味見してもらって意見をいただいたり、調理法を伝授していただいたりしている。食材の下ごしらえをしたり、食器拭きをしてもらったり、参加していただいている。 (外部評価) ちらし寿司を混ぜたり、テーブルを拭く等、利用者が食事の支度をされている様子がうかがえた。食事の時間は、利用者と職員がともにテーブルを囲み、談笑されながら食事をされている。ミキサー食の方に職員は、小さなスプーンを選び、せかさず静かに話しかけながら介助されていた。		
55		本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) お酒が好きな方には希望すれば、体調に合わせて飲まれることもあった。飲み物・おやつなど選べるようにして出来る限り希望に沿うようにしている。医者・家族等より制限がでている方に関しては、選択肢が限られるが出来るだけ楽しんで頂けるようにしている。		
56		気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) トイレ誘導が出来る方は、食事前・水分補給前後を目安に行っている。おむつもしたままではなく、残存機能を生かせるようにスタッフ同士で話し合い、検討し、実行するようにしている。排泄チェック表にて確認するようにしている。		

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
57	23	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価)		
			出来るだけ個人の意見を尊重している。しかし、入浴拒否が長期間続く場合は、職員が積極的に働きかけるようにしている。また、本人の病状に合わせての入浴も医者と相談して行っている。		
			(外部評価)		
			利用者全員が毎日入浴できるように支援しておられる。入浴を嫌がる利用者の方の介助時、歌を唄ってみると、利用者の方も一緒に歌ってくださり、それ以後、入浴がスムーズとなったというような事例もある。介護度重度の方の支援のため、可動式シャワーチェア-の購入や、浴室と脱衣所との段差の解消に取り組み、浴室の中には電動の昇降機を設置された。		
58		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価)		
			散歩や入浴など行ったり、犬と触れ合ったり、リビングで過ごす時間を多くしたりと昼夜逆転しないように努めている。状況に応じて日中休息が取れるようにしている。どうしても眠れない方には、医者と相談し、眠剤を服用されている方もいる。布団干しを行い気持ちよく寝ていただけるようにもしている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価)		
			職員と一緒に買い物に行き、荷物もちをしたり、たくさんの商品に驚き、感動されたり、掃除などして自分の仕事の達成感を持っていただくようにしている。季節の花を楽しみ、生けたり、大好きな犬と触れ合ったり、個人個人にあった役割・余暇時間が過ごせるように支援している。		
			(外部評価)		
			生け花が趣味の方に居間に花を生けていただいたり、歌がお好きだけれど、思い出せない方には、思い出せるよう職員がさりげなくサポートされている。お誕生日には、手作りケーキとプレゼントを用意し、歌を歌って全員でお祝いされている。		
60		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価)		
			能力がある方に関しては、本人が希望した場合職員と一緒に買い物に行き、雑貨や衣類など購入している。現在は管理能力がない方が殆どでパン1個が50銭と思っている方もいる。家族とも相談させていただき、要望もあり、能力的に困難なことから、所持・使用されている方がいない。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
61	25	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価)		
			積極的に希望を言ってくる方が少なく、職員からの働きかけにより、買い物に行ったり、散歩したりしている。動くのが億劫なかたに対しては、庭で日向ぼっこして、お茶を飲んだり、おやつを食べたりと外気に触れる機会を作っている。		
			(外部評価)		
			日常的な散歩の他に、車で買い物に出かけることもある。介護度重度の方は、庭に出て日向ぼっこされたり、年に数回はお花見や観覧車に乗りに出かけておられる。		
62		普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価)		
			季節の花々を求めドライブに行ったり、年に何度か外食したりしている。少人数で出来るだけ、個別に対応できるようにしている。家族とお寺参りしたり、家族のところへ外泊したりする方もいるが、限られている。車椅子や、歩行器を貸し出ししたり、アドバイスしたりはしている。		
63		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価)		
			希望時には電話をかけていただいたりしている。また、その際に困難な方に対しては、職員が手助けするようにしている。		
64		家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価)		
			時間制限も作っておらず、いつでも来ていただけるようにしている。職員も明るく笑顔で対応するようにし、近況を積極的にお話したり、家族の状況も考え接するように努めている。玄関にめだかや金魚を飼育し、和やかな雰囲気作りにも努めている。		

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
65		身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 全ての職員が禁止の対象になる具体的な行為を正しく理解し、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。		
66	26	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) 自室の鍵に関しては、入居者の方にまかせている。それ以外の鍵は夜間以外かけていない。また鍵をかけることの弊害を職員が理解している。 (外部評価) 玄関の鍵はかけず、居間の掃き出し窓も開放されていた。		
67		利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価) 入居者の所在や様子を把握し、プライバシーや安全に配慮しているが必ずとは言えない。		職員間で声かけ等をもっとするようにして職員全員で様子を把握できるよう取り組みたい。
68		注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価) 危険なものを全て取り除くのではなく、一人ひとりの状態に応じてどうするか判断している。ただ、利用者の身体の状態が変わっていくので、それにに応じて判断しないといけない。		利用者の状態の変化等、正しく判断し、それに応じて対応していきたい。また、どんなものを持っているか、一緒に片づけをしたりしながら把握していかないといけない。
69		事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) 事故防止のために知識を勉強したり、それに対応するマニュアルをいつも見ることが出来るようにしているが定期的な勉強は来ていない。		事故が起きた時のために定期的にそれに対する対応が出来るように勉強していきたい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価)  不定期ではあるが消防署の協力を得て応急処置や、救急救命等学んでいる。現在1年に1回。ミーティング時にも再確認する機会を持つようにしている。		
71	27	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価)  食器棚等地震対策はしている。消防署の方の定期的な点検も受けている。地域の方の協力としては、誰が駆けつけるという体制と言うのは困難である。  (外部評価)  年1回、消防署の協力を得て避難訓練を行っておられる。緊急時の対応については、管理者がミーティング時や個別に指導しておられる。区長さんから、「緊急時の町内放送ができるから言ってください」と言ってもらっている。		推進委員会で実際起きたとき、利用者の部屋の所在・間取りなど作成しておくといとの意見を頂いた。早急に対処したい。  事業所独自でも、いろいろな場面を想定して訓練を重ね、課題を明確にして取り組みを重ねていかれてほしい。
72		リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	(自己評価)  リスクのある方の家族との話し合いはしている。実際起こり得るリスクを具体的に説明し、納得してもらっている。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価)  常に観察し、職員間で情報の共有をし、小さなことでも報告してもらっている。異変があれば、早急に対応している。		



## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
74		服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 投薬情報をファイルに整理し、内容を把握できるようにしている。また薬に変更があった場合は日誌の申し送りに記録・全員が確認するようにしている。		
75		便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) 散歩や日向ぼっこなど行ったり、犬と触れ合ったり、体を動かす機会を増やしている。また、ヨーグルトや、牛乳を加えた飲み物や、水分補給などその方にあった解消法を常に検討・実践している。		
76		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) 毎食後の歯磨きの声かけを行っている。また、必要な方には、洗面所まで誘導し、見守り・介助を行っている。全介助の方には、スワブ・ガーゼ等活用し、口腔ケアを行っている。		
77	28	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 個人個人にあった食事の形態で食事していただいている。水分も定期的に進めている。管理が必要な方には、摂取表を作成して管理している。また食事制限のある方には、体重管理等医者と相談しながら支援している。 (外部評価) 利用者の状態に合わせて、刻みやミキサー食で支援されている。又、野菜を多く採り入れ、繊維やミネラルを摂取できるような食事作りに気配りされている。		
78		感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	(自己評価) 予防接種などは励行しており、家族の同意のもと受けている。また食事前・排泄の後・外出後声かけ・誘導して手洗いを行っている。ウイルス除菌のウェット使用。スタッフも一動作一手洗いを心がけている。		

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
79		<p>食材の管理</p> <p>食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>食器用のふきんなど毎日漂白・除菌している。生野菜などは必ず熱を通すようにしている。食材の賞味期限を守っている。</p>		
<p><b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b></p> <p>(1) 居心地のよい環境づくり</p>					
80		<p>安心して出入りできる玄関まわりの工夫</p> <p>利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>建物の外壁に目立つペインティング、周辺には、季節の花々や野菜を植え、家族・近所の方との話題に一役かっている。</p>		
81	29	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>玄関には金魚を飼ったり、生花を飾ったり季節感を感じてもらったり、癒しの空間を作れるようにしている。庭にも季節の野菜を植えたりしている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>色鮮やかな絵をペインティングされた壁が目を引き付ける建物で、ベンチや縁側を配し、たくさんの金魚を飼っておられた。居間には畳ベンチとテーブルを配した雰囲気の違うスペースもあった。</p>		
82		<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>リビングでたたみのイス設置。また、リビングで話したり、楽しんだり、自室で話の合うもので過ごしたりしている。人と関わる事が苦手な方には職員が必要に応じて働きかけしている。</p>		

## 自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	30	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好み のものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価)		
			音楽が好きな方には、CDラジカセなどで音楽を楽しんでいただいたり、花好きな方には、花をかざったり、ご家族と撮った写真を飾ったりしている。入居前からの使い慣れた家具等を使っておられる。		
			(外部評価)		
			手作りのニットの服を着せた人形を飾ったり、ご主人手作りの竹細工を飾っておられる居室もうかがえた。		
84		換気・空調の配慮 気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価)		
			毎朝掃除のときの換気は徹底するようにしている。自室に置いてあるポータブルトイレは週に1回洗浄・消毒・乾燥を徹底している。汚染時は適時清掃をしている。外気温との差をなくす為エアコンの温度調整、換気を行っている。		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価)		
			トイレなど、立ち上がりの補助として手すりをつけている。敷居などは、転倒防止の為段差を最小限にしたり、車椅子の出入りがスムーズに出来るようにスロープをつけている。		
86		わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価)		
			1日の主なスケジュール(食事の時間など)を共有スペースに大きく提示したり、すべきことを提案したりしている。		
87		建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	(自己評価)		
			建物の外回りは季節の花を楽しめるように、また、家庭菜園も小さいながら作っている。気候が良い時は縁側やベンチなどでお茶を飲んだり、日向ぼっこなどを行っている。		

. サービスの成果に関する項目		
項目	取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	判断した具体的根拠
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (自己評価) ①ほぼ全ての利用者の 2 利用者の2/3くらいの 3 利用者の1/3くらいの 4 ほとんど掴んでいない	利用者が何を望んでいて何をしたいか把握している。個人の性格も理解しているつもりである。
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (自己評価) ①毎日ある 2 数日に1回程度ある 3 たまにある 4 ほとんどない	食事と一緒に話しながらできたり、一緒に座りおやつをたべたり、お茶を飲んだりしている。一緒にイスに腰掛けいろいろ話を展開できている。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (自己評価) ②利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	食事・入浴・外出など本人のペースで行えている。強制や、急がすことのないようにしている。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (自己評価) ②利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	個人にあった役割分担を行い、それによってとても生き生きされているように思う。
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (自己評価) ③利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	身体的に可能な方は、自由に出かけられる。散歩・買い物など。身体的に重度の方が多いのも事実であり、限られてしまうこともある。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	不安に思うことがあれば、相談してもらえており、解決策も見出されている。行きつけのかかりつけ医。往診等も安心されている。
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	状況や、希望に関して出来るだけの支援はできている。
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (自己評価) ①ほぼ全ての家族と 2 家族の2/3くらいと 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない	気軽に話せる、気軽に訪問できる関係は出来ている。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (自己評価) ③たまに 4 ほとんどない	近所の方が話しに来られたり、野菜を届けてくださったり、している。

項 目	取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (自己評価) ② ② ② ② 1 大いに増えている 2 少しずつ増えている 3 あまり増えていない 4 全くいない	利用者が一人で外出してしまったときでも、近所の方が気に止めて連絡してくださったりすることが増えた。
98	職員は、生き活きと働けている (自己評価) ① ① ① ① 1 ほぼ全ての職員が 2 職員の2/3くらいが 3 職員の1/3くらいが 4 ほとんどいない	コミュニケーションの取りやすい職場だと思う。誰もが気軽に意見を言い合えている。
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う (自己評価) ① ① ① ① 1 ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	職員とお話している雰囲気から満足されているのではないかと思います。信頼関係も出来ているように伺える。
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う (自己評価) ① ① ① ① 1 ほぼ全ての家族等が 2 家族等の2/3くらいが 3 家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない	訪問時に話している中では、よくしてもらっていると褒めの言葉をかけてくださる。が、まだまだサービスの質の向上に努めていく必要があると思う。

【特に力を入れている点・アピールしたい点】  
 (この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

・職員同士の人間関係、職員と利用者との人間関係。お互いが親しみをもちて過ごしている。・グループホームは家庭的であり、温かい雰囲気であるということ念頭に、肉親ほどの存在にはなれないが、家族でありたいと思っている。信頼関係を築いている。・常に利用者に対して何がベストであるか考え、毎日その人らしくいられるように真剣に考えて、実行している。・花や畑、金魚やめだか等親しみが持て、和やかな雰囲気作りに努めている。